

北浦小  
学校だより

そっ たく  
**啐啄**

令和2年度  
**10月号**  
NO. 5  
文責：校長

学校便り「啐啄」「そったく」～「啐」は、ひなが卵の殻を破って出ようとして鳴く声、「啄」は母鳥が殻をつつき割る音です。親鳥と雛の絶妙のタイミング。同様に、先生と子ども、保護者と子ども、先生と保護者等の呼吸がびたりと合うことを願いつつ、本年度も学校だよりのタイトルとしました。

## 2020 北浦っ子運動会! 感動をありがとう!

10月18日(日)、令和2年度の「北浦っ子運動会」を実施しました。本年度は、午前中開催と種目省略等、制限の中での開催となり、これが小学校生活最後の運動会となる6年生には、特に心苦しい判断でした。来賓や地域の皆様をご案内できなかったことも大きな反省点となりました。次年度は、見えない感染症に左右されることなく、通常通りの大会開催をして、多くの方々に子どもたちのがんばりを観ていただくことができることを願うばかりです。いつもとは違う運動会でしたが、閉会式を終えて省みると「素晴らしい運動会」「心に残る運動会」となりました。運動会で躍動する122名の子どもたちは輝いていました。団長(黒田右恭さん中西隆太さん)・副団長(甲斐杏寿さん水木波那さん)・リーダーを中心に、団が一つにまとまり、北浦小が一つになった運動会であり、運動会を成功させようとする子どもたちの懸命な姿に、感動を覚えました。1年生は初めての北浦っ子運動会、6年生は最後の運動会、それぞれの学年に目標がありました。一人一人にめあてがありました。子どもたちは本当によく頑張ったと思います。大会スローガンの「仲間と協力!見せてやれ 本気の北浦魂」は、見事に達成できたと考えます。

まっすぐに腕を伸ばし「はい!」という気持ちのよい大きな返事、リズムよく手足を伸ばして一生懸命踊る姿、団長の声に合わせて精一杯の声で応援する姿、力をぬくことなくゴールテープを駆け抜けぬける姿、勝利を目指して力を合わせて団技をする姿、失敗をしながらも自分の仕事をやり遂げる姿……。一つ一つの場面が、それまでの練習過程と重なり、胸を打ちます。この日の姿をイメージして、粘り強く指導を続けてきた各学年の先生方の姿も思い起こされます。できなかったことができるようになる瞬間、失敗をくり返しながらも一歩前進する時、子どもたちはぐんと成長します。一人では難しいことでも仲間と力を合わせる事で前に進めることが実感できます。そうしたことを顕著に肌で感じて、それぞれの心に達成感や充実感を味わうことができるのも、運動会という行事のよさだと思います。まさに、閉会式を終えて、団を解散するときの子どもたちの表情がそのことを物語っています。天野会長の万歳三唱の音頭と共に手を上げながら、解団式での団長の言葉を聞きながら、子どもたちはどんなことを思ったのでしょうか。きっと、それぞれの心にあたたかいものを感じたのではないのでしょうか。

また、前日までの準備や当日の早朝、終了後の後片付けに、PTAの皆様の大きな力添えをいただきました。どれだけ心強かったことか、励まされたことか、感謝しかありません。本当にありがとうございました。

気がつけば10月下旬です。令和2年度も折り返し地点を過ぎ、後半戦へ入っていきます。今後も職員一丸となり、運動会を通して身に付けたことを、後半の学校生活に行かしていくように、指導・支援して参ります。北浦っ子運動会へのご理解・ご支援・ご協力、本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。





## 1 1 月行事予定

5日(木) 集金日 ベルマークの日  
クラブ活動 PTA運営委員会

6日(金) 避難訓練

11日(水) せせらぎ号来校

13日(金) 持久走大会

18日(水) 小中合同研修会

23日(月) 祝日「勤労感謝の日」

24日(火) 委員会活動・家読の日

※11月に予定していた6年生の修学旅行  
は、12月へ延期します。



## 令和2年度 上半期「北浦魂賞！」

令和2年度前半の「北浦魂賞」の授与を行いました。それぞれの学年から推薦された18名が受賞しました。あいさつや姿勢、授業中の発表や聞く態度、家庭学習のがんばり、友だちへのやさしい行い、清掃態度、手伝いやボランティア活動、等々、この上半期の行いから推薦された子どもたちです。

1年～繁田いちかさん、工藤あづささん、  
松原まさちかさん、木下なつきさん

2年～伊東きりゅうさん、高須よしのさん

3年～塩月のあさん、波越あやねさん、橋本はやとさん

4年～河野たけるさん、工藤あんなさん、瀧口かすみさん

5年～黒田いのりさん、長瀬かいさん、天野ひなさん

6年～松田けいしんさん、松原さとしさん、甲斐ゆずはさん

